第六十二回中部日本高等学校演劇大会参加作品

滝高等学校

心霊倶楽部

作　瀧源作

連絡先
滝高等学校
〒四八三―八四一八
愛知県江南市東野町米野一番地
電話(〇五八七)五六―二一二七

著作権者連絡先
滝高校演劇部ＯＢ会会長　水谷潤一
〒四八四―〇〇七三
愛知県犬山市天神町五―二十五
電話(〇五六八)六一―七九九九

キャスト（男５人、女５人、他に男女数人）

心霊倶楽部部員

亘　（ワタル）　文　乃（フミノ）

聡　志（サトシ）　好　希（コウキ）

有　佐（アリサ）　奈　央（ナオ）

禎　実（トモミ）　一　憲（カズノリ）

佑　実（ユミ）

心霊倶楽部顧問

田中先生

滝山高校生徒

（数人・転換要員兼ねる）

一場

音先行。緞帳が上がると心霊倶楽部部室。舞台中央には大小二つの机があり、八つ椅子がある。壁にはたくさんのお札が貼られており、中央には大きな窓がある。上手、中央、下手の三箇所の出入り口がある部室。
下手側の大きい机の周りに六人の部員たちが集まり、水晶を見つめている。誰にも気付かれず、上手から禎実が静かに入ってくる。

奈央　見える、見える、あー見える
文乃　何が？
奈央　女の子
有佐　どんな？
奈央　笑ってる
亘　笑ってる？
奈央　何かを引きずりながら
聡志　何を？
奈央　苦しそうな男の顔
好希　女の呪い？
奈央　来る、来る、来た
文乃　どこに？
奈央　すぐそば
全員　どこ？
奈央　すぐそば
全員　どこ？
奈央　すぐそば
全員　どこ？
禎実　ここ
全員　ギャーッ！！
禎実　あの、ここ…心霊倶楽部ですよね？
全員　はい
禎実　あー良かった。私、地下室だから間違えちゃったのかと思って
亘　君、誰？
禎実　一年の神野禎実です
有佐　何か用？
禎実　入部したいんです
好希　入部？
禎実　はい
好希　新入部員？
禎実　はい
文乃　人間？
禎実　はい
亘　幽霊じゃない？
禎実　もちろんです
好希　あー良かった
亘　部長、何が良かったんですか？
文乃　だって幽霊じゃなくて良かったじゃない
亘　亘、私たちは幽霊が見たいがために、この心霊倶楽部にいるんでしょ？
聡志　そうだよ
亘　幽霊が見えなきゃ意味ないじゃないですか
聡志　そんなこと言って、お前も怖がってたじゃないか
有佐　先輩、部長ですよ？　その部長が幽霊怖がっててどうすんですか
禎実　やめなさいよ、新入部員の前でしょ
有佐　あの、もう一人いるんですけど
禎実　えっ、そう？　なら連れてきて

禎実　はい

禎実、上手からはける。
禎実が一憲を引っ張りながら上手から入ってくる。

一憲　やだー！　やだやだやだ！　やだ！　やだ！　絶対やだー！

禎実　大丈夫！
一憲　大丈夫じゃない！
禎実　入るの！
一憲　入らない！
禎実　男でしょ！
一憲　男じゃない！
禎実　もー！

禎実、一憲を舞台中央に突き飛ばす。

亘　君、誰？
一憲　一年の西原一憲です
亘　一憲くん、僕がこのクラブの部長をやってる、三年の森田亘です。ようこそ
一憲　僕、心霊倶楽部には入りません！
有佐　なんで
一憲　だって、怖いし・・
聡志　呪われるからか？
一憲　そう
好希　霊にとりつかれるからか？
一憲　そう
文乃　命が惜しいから？
一憲　そう

禎実　そんなことあるわけないですよね？

全員、無言で二人をじっと見つめる。

一憲　僕・・やっぱやめます！

一憲、逃げようと上手扉を開けると田中先生が立っている。
それに驚いて、一憲転がる。

一憲　わぁー出たー！
田中　誰だこれ？
一憲　おばけー！
田中　誰が？
一憲　あんた
田中　なんで？
一憲　頭のそれ
田中　これか？
一憲　うん
田中　これは顧問のトレードマークだ
禎実　顧問？
亘　顧問の田中克樹先生
禎実　田中先生、なんでそんなのしてるんですか？
田中　いや、これは前任からの受け継ぎでな、これをつけてないとだめなんだよ
田中　おい、亘、こいつら誰だ？
亘　新入部員の西原一憲くんと神野禎実さんです
田中　途中入部か？
一憲　僕、まだ入ってません！
奈央　わたし一年生一人で不安だったんだよ
禎実　あなたも一年生？

奈央　そう、一年の勝見奈央っていいます。よろしく
禎実　よろしく
奈央　一憲くんもよろしくね

奈央、一憲に手出すが、一憲は拒否する。

一憲　僕、入るって決めてない
田中　入部届けは先生が出しておくな
全員　はい
一憲　僕、まだ入ってません
田中　じゃあ、何かわからないことがあったら二年の中村有佐に聞いとけ
有佐　これからよろしくね、このクラブなんでも挑戦しなきゃだめよ
禎実　はい
文乃　それでもわからないことがあったら三年の私に何でも聞いてね。竹内文乃です
禎実　文乃先輩
文乃　お姉さまって呼んでもいいわよ
亘　ばばあ様って呼んでもいいわよ
文乃　あん？
亘　先生が部室に来るなんてめずらしいですね
田中　おう、そうだ今日は月が異様に赤いからな。こういう夜は何かが起こる

聡志、好希、走っていって窓開ける。

全員　おー
田中　だからな、今日は皆に早く帰るように言いに来た
亘　そうですね。じゃあ、今日の部活は終わりにします

田中　そうか
全員　えー
亘　部活終了
一憲　僕、まだ入ってません！
田中　そうかー。じゃあ、一生懸命やってくれ。先生は期待してるぞ
亘　じゃあ、みんな明日また四時四十四分に会いましょう
全員　はい
亘　お疲れさまでした
全員　お疲れさまでした
有佐　禎実、一緒に帰ろ
禎実　はい！いろいろ教えてください

聡志、好希、一憲の三人を残して、他は上手、中央、下手から分かれてはける。

一憲　僕、絶対入りませんよ。僕、入りませんからね。僕、心霊倶楽部には絶対入りませんからね
好希　一憲君、ちょっといいかな
聡志　俺、二年の久保田聡志
好希　俺、二年の會田好希
二人　よろしく
好希　まあ、座れよ
聡志　君、なんでそんなに心霊倶楽部入りたくないの？
一憲　怖いからです
好希　馬鹿だなあ幽霊なんているわけないじゃん
聡志　幽霊なんて人間のイメージなんだぜ
一憲　そうなんですか？
二人　そう
一憲　じゃあ、先輩たちはなんで心霊倶楽部にいるんですか？

聡志　楽しいから
好希　幽霊ごっこなんてすっごく楽しいぞ
一憲　本当ですか？
好希　たとえば俺が幽霊だとする
聡志　そしてたとえば俺が心霊部員だとする
一憲　僕は…？
聡志　お前は…そう
二人　ベッドだ！
一憲　ベッド？！
好希　俺は幽霊だぞー
聡志　心霊部員だぞー
好希　幽霊だぞ～
聡志　心霊部員だぞ～
一憲　ベッドだぞ～
二人　ベッドは黙ってろ
一憲　はい
聡志　そして心霊部員はこの聖剣スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャスを使って幽霊を倒す！
一憲　名前長ッ！
二人　ベッドは黙ってろ！
聡志　うおおおおおおおお！
好希　うわあああああああ…バタッグーグーグーグー
一憲　お休みなさい
二人　ベッドは黙ってろ！
好希　だがこの時、幽霊は千年の時を超えハイテク化して戻ってきた！
聡志　世界の危機を救うべくベッドは勇者に進化した！
一憲　僕！？
聡志　そう！
一憲　うおおおおおお！キンキン…キン！
好希　ぐあああ…バタッ
聡志　お前強いじゃん！
好希　やっぱ才能あるよ！
一憲　本当ですか？
好希　な、楽しいだろう？
一憲　はい！
聡志　よしこの楽しさがわかったら、今日はもう帰ってよし！
一憲　はい！…あの僕、明日、お姫様やってもいいですか？
好希　おうお姫様でも枕でもなんでもやれよ！　じゃあな！
一憲　はい！

一憲、上手からはける。

聡志　なあ、明日は何をやる？
好希　明日は…青春モノやろう
聡志　青春モノ？！…でもお姫さま出て来ないよ
好希　あいつベンチでいいや
聡志　ベンチでいっか
好希　俺、先生
聡志　俺、生徒
好希　好希、お前なんで木耳をクラゲだと思ったりしたんだ
聡志　すいません！
好希　まあいい…あの恋は永久だと思っていたからな
聡志　先生！
好希　見ろ、夕日が綺麗だろ
聡志　はい
好希　あの夕日に向かって走り出すんだ！
聡志　先生、涙が止まりません。
二人　それが青春だ
　　うおおおおお

聡志、好希は窓の外を佑実がスーっと横切るのを目撃する。

二人　ああああああああああああああああ！

佑実が通り過ぎる。

二人　ギャーーー！！

半明転

二場　亘、禎実、奈央の三人が話をしている。

禎実　キャー、やだもー、怖い

亘　怖くないってこの話

文乃、聡志、好希、上手から入る。

文乃　そんなの信じない

聡志　本当ですって先輩

好希　何で信じてくれないんすか

聡志　この目で見たんです

好希　霊はいるんです、絶対

文乃　あんたたちいつも勘違いばっかじゃない。黒い布切れとか、あたしのことを幽霊だって間違えたり、そんな人の話なんて信じられません

聡志　見たから言ってるんです

好希　今まで見たことはなかったんですけど、昨日は確かに見たんです

文乃　アタシ絶対信じない

聡志　先輩、それでも心霊倶楽部の三年ですか？

亘　おいおい何があったんだよ

文乃　出てもない霊が出たって嘘ついてるのよ

好希　霊はいます。しっかりとこの目で見ました

亘　どこで見たんだ？

二人　その窓

亘　ここ？

聡志　女子高生が髪を垂らして横にすぅーっと！

亘　この窓にか？

二人　あっーーー！！

聡志、好希、窓の前にいる亘を、下手手前に突き飛ばす。

聡志　あれは邪悪な霊ですよ

好希　呪われたらどうするんですか？！

亘　だって今までこんな地下室で霊なんか見たことないもん

奈央　あるとしたら不思議な人形ぐらいですよね

禎実　不思議な人形って何

奈央　あれよ

禎実　この人形がどうかしたの？

文乃　普通、人形っていうと髪の毛が伸びたりするでしょ？

禎実　ああ、そういう話聞いたことあります

文乃　この人形ね、鼻毛が伸びるのよ。しかも片っぽだけ

禎実　えー？

亘　まあ、あと不思議な現象はいくつもあるんだけどね

文乃　それでも霊が出たってのは聞いたことないな
好希　でも出たんです昨日
聡志　赤い月・・・
禎実　赤い月？
聡志　赤い月によって何かが変わってきたのかも
禎実　じゃあ、私も幽霊が見えるようになるんでしょうか？

有佐、中央から入る。

有佐　こんにちは。ねえ好希、髪切ったんだけどどーう？
好希　あー、全然変わってない
有佐　女の美しさがわかってないんだから
好希　わかってるつもりです
禎実　有佐先輩、何か変わったことありませんでした？
有佐　何で？
奈央　赤い月には何か変わるって
有佐　そんなことあるわけないでしょ
禎実　そうですか
有佐　あ、部長、喉渇いちゃったんでジュース買ってきますね
亘　はい
有佐　誰かいる？
文乃　私いらない
禎実　あたしも結構です
有佐　そう

有佐、下手からはける。

好希　部長、これからこの部室いろんなことが起きますよ
亘　またまた
聡志　先輩達は気楽でいいですよね
亘　じゃあ、お前霊見たことある？
聡志　見たって言ってるでしょ
亘　俺はまだない
好希　これから見るかもしれないじゃないですか
亘　見れたら本望だよ

有佐、中央から入る。

有佐　こんにちは。ねえ好希、髪切ったんだけどどーう？
好希　変わって・・・ないよ
有佐　女の美しさがわかってないんだから。
禎実　有佐先輩、何か変わったことありませんでした？
有佐　何で？
奈央　赤い月には何か変わるって
有佐　そんなことあるわけないでしょ
禎実　そうですか
有佐　部長、喉渇いちゃったんでジュース買ってきますね
亘　はい
有佐　誰かいる？
文乃　あたしさっきいらないって
禎実　あたしも結構です
有佐　そう

有佐上手からはける。

聡志　何あいつ？
亘　あいつ、こっちから出てったよな
聡志　はい
好希　なんでこっちに行ったものが、どうしてあっちから出てくるんだ？

禎実　それに同じこと聞いてましたよね？
文乃　赤い月のせい？

一憲、上手から入る。

一憲　こんにちは

全員、驚く。

全員　うわっ
一憲　今日こそは、お姫様やらせてくれるんですよね？どうかしたんですか？
亘　有佐
聡志　二人
好希　ジュース
禎実　出たり入ったり
一憲　訳わかんない
亘　そうじゃなくて

有佐、中央から入る。

有佐　ねぇ好希、髪切ったんだけどどーう？
好希　変わってねぇよ
有佐　女の美しさがわかってないんだから
好希　美しさなんてわからない
禎実　先輩、何か変わったことありませんでした？
有佐　何で？
奈央　赤い月には何か変わるって
有佐　そんなことあるわけないでしょ
禎実　そうですか
有佐　部長、喉渇いちゃったんでジュース買ってきますね
亘　はい
有佐　誰かいる？
文乃　あたしいらない
禎実　あたしもう結構です
有佐　そう

有佐中央からはける。亘、聡志、有佐の後を追って、中央扉に見に行く。

一憲　どうかしたんですか？　何かみんな変ですよ？
文乃　変なのは有佐よ
好希　三人目の有佐
亘　三人目の有佐
聡志　消えた
好希　うそーーーー
一憲　有佐先輩が何人もいるってことですか？
好希　そう
一憲　それってドッペルゲンガーじゃないんですか？
好希　ドッペルゲンガー？
亘　それは幽霊ってことか？
一憲　はい
聡志　怖い
好希　怖い
全員　部長！
亘　よしわかった。あれは有佐なんだ。ドッペルゲンガーなんかじゃないんだ。一日に何回もジュースを買いにいくのも有佐。一日に何回も髪の毛を切るのも有佐。有佐はそういう人間なんだよ。そうしようじゃないか

有佐下手から入り、亘の背後に静かに立つ。

亘　お願い
全員　部長
亘　みんな、わかってくれたのか？　やっぱり有佐は一人なんだよ
有佐　部長
亘　いたよー

半明転

三場

有佐、聡志、好希の三人がツイスターゲームをやっている。

有佐　赤の右手
好希　ちょっと待て、お前絶対屁こくなよ
聡志　お前も絶対こくなよ
好希　俺ジャストミートなんだよ
有佐　緑の右手
好希　もう無理だよ

亘、中央から入る。

亘　できたぞ、コックリさん
好希　コックリさん？
亘　コックリさんをやろうと思って三日三晩かけて作りあげたんだ。やろう！
全員　はい
好希　すかしっぺは卑怯だぞ
聡志　俺の屁には音ではいい表せないものが詰まってるんだよ
好希　何だよそれ
聡志　匂いだよ
亘　部長どうしてカーテン開けるんですか？
有佐　知らないのか、こっくりさんをやる時はどこか一つ出入り口作らなきゃいけないんだよ
亘　そうなんですか
三人　そう。そして、この五円玉！　この五円玉に皆が指を乗せるんだ。始めるぞ。
亘　はい！

四人が下手の机に集まり、コックリさんを始める。

亘　コックリさん、コックリさん、ここは滝山高校の心霊倶楽部です。おいでになりましたら、はいの方へお進みください
有佐　おお、動いた動いた
好希　好希が動かしてるんじゃないの？
亘　おれは動かしてねーよ
聡志　おいっ、手を離すな、危ないだろ。コックリさん、コックリさん
亘　コックリさん、コックリさん、あなたはどうやって居眠りをするんですか？
好希　こっくりこっくりするんです
聡志　コックリさん、コックリさん、あなたはどうやって水を飲むんですか？
亘　それは…

有佐　ごっくり
好希　もうなんで言っちゃうんだよ有佐
有佐　だって簡単だったんだもん
聡志　がっくり
好希　俺の犬、昨日コックリ死んじゃったんだよな
有佐　ぽっくり！
聡志　俺のじいちゃん、今日の朝コックリ腰で倒れたんだよ
有佐　ぎっくり！
好希　俺の母ちゃん松田聖子にコックリなんだぜ
有佐　そっくり！
聡志　見てみて、俺の服コックリさん
有佐　国産
好希　将来の夢はコックさんなんだ
有佐　コックリさん！
二人　なんでやねんっ
亘　おいっ、お前たち、もうそろそろちゃんとやらないとコックリさんが怒っちゃうぞ
有佐　そんなわけないじゃないですか
聡志　心配しすぎですよ、部長
好希　ひっくひっく
聡志　わっ！
有佐　何？
聡志　コックリはコックリさせると治るんだぜ
有佐　しゃっくりはびっくりさせると治るでしょ
聡志　そうとも言う
亘　なんでもいいから早く座れ
三人　はい

電灯が点いたり、消えたりする。

有佐　何？　停電？
聡志　まさか
有佐　じゃあコックリさんとか？
亘　やばくね？
好希　考えすぎですよ。たまたま、たまたまですよ

下手の壁にある絵が下がり、上がり、最後に落ちる。

有佐　絵が落ちた
全員　えー

下手の机上から物が落ち、元の位置に戻る。

聡志　お前がふざけたからだよ
好希　お前がふざけたからだろ
有佐　あーもうやめなさいよ。部長、早く帰ってもらいましょう
亘　そうだな。コックリさん、コックリさん、お帰りください

上手の扉が静かに開く。

亘　コックリさん、コックリさん、本当にお帰りください

下手の扉が静かに開く。

亘　コックリさん、コックリさん、本当に、本当にお帰りください

中央の扉が静かに開き、三箇所の扉から、手がたくさん出てくる。

全員　本当に帰ってー

扉から出ている手が手招きをしている。同時に、窓の外を佑実がスーっと横切る。

半明転

四場

亘、文乃、禎実、奈央、一憲の五人が幽霊探検の格好をして横一列に並んでいる。その横に、田中先生が椅子に座っている。

亘　よし、皆揃ったか？
四人　はい
亘　よし、じゃあ、まずは幽霊探検の規則の確認だ。みんな俺に続いて言うように
四人　了解です
亘　ひとつ、一人で逃げない
四人　一人で逃げない
亘　ひとつ、幽霊と会ったら報告
四人　幽霊と会ったら報告
亘　ひとつ、水筒と帽子は忘れない
禎実　遠足？
亘　ひとつ、おやつは一人、三〇九円まで
奈央　完全に遠足気分じゃないですか
禎実　しかも消費税まで考えるそのほのかな優しさはなんですか？
一憲　部長、やっぱりおやつ代、五〇〇円にしませんか。消費税入れて五二五円
文乃　だから消費税って何？　それにそんな大金持ってこれるの？
一憲　足りないくらいですよ
亘　文乃は大げさだな
奈央　消費税って何ですか？
禎実　消費税は消費税です
亘　みんな道具はちゃんと持ってるか？
四人　はい
亘　言ってみろ
禎実　ロープ
亘　風呂敷
奈央　トイレのすっぽん
亘　とりもち
一憲　それで幽霊捕まえられるのか？
全員　捕まえられますよね？　先生
田中　知らん
亘　亘、あんたの格好は何？
四人　部長の格好、どう見ても昆虫採集ですよね？
亘　違う。幽霊採集だ
そんな小さなかごに入るんですか？
ちぎって入れればいいだろ
幽霊ってちぎれるんですか？
先生？
できるんじゃない？
よし、では訓練に移る
はい
位置につけ

四人　はい
亘　いいか？　目の前に幽霊がいるぞ
四人　はい
亘　この幽霊を捕獲しなければいけない
禎実　部長、どんな幽霊ですか？
亘　頭は割れて血を流し、目には折れた矢が刺さり、とれた左の腕からはにゅるりにゅるりとウジがわく
三人　やめましょうよ
文乃　初心者には怖すぎるわ
亘　よしわかった。あそこに幽霊がいる
三人　はい
亘　歯をむき出して笑いかけ、喉にはぽっかり穴が開き、手をうらめしそうに前に出し、身の丈八メートルの大男
田中　大きいな
一憲　部長、大きすぎです
文乃　もっと普通にしなさいよ
亘　普通？
文乃　これは訓練なんだから
一憲　想像しにくいです
亘　よしわかった。あそこに田中先生の幽霊がいる
田中　うらめしや～
亘　あれを捕獲するんだ
三人　はい
亘　禎実、奈央、一憲、行け

三人が田中先生を捕獲しに行く。

田中　苦しい
一憲　すっぽん、すっぽん、すっぽん・・・
三人　部長、無理です

田中　俺は便器か
亘　撤収
三人　はい
亘　文乃
文乃　わかった

二人が田中先生を捕獲しに行く。

二人　うん
亘　行くぞ
文乃　ハイヨ。てやっ、てやっ、てやっ、てやっ
亘　はいっ
文乃　てやっ
亘　はいっ
文乃　てやっ
亘　終了、見事、田中先生の捕獲に成功
田中　なんかネチョネチョする
禎実　部長、ほんとにこれで大丈夫ですかね？
亘　大丈夫だ。来週は霊に対するマナーと正しい育て方
四人　はい
亘　先生、これでいいですよね？
田中　育つといいね
五人　はい
一憲　部長、やっぱり僕クラブやめます
全員　えっ？

半明転

五場

部室に全員集まっている。

亘　いいかげんにしろよ、何で俺が部長じゃいけないんだよ
聡志　先輩部長らしくないじゃないですか
好希　頼りないし
有佐　霊感ないし
奈央　威厳もないし
好希　何もないじゃないですか
有佐　部長がしっかりしないから一年もついてこないんですよ
亘　一憲、俺、頑張ってるよな？

一憲、顔をそむける。

亘　いったい俺のどこが不満なんだよ
聡志　全部
一憲　お姫様やらせてくれないし
亘　俺はお前らをまとめようとしてきたじゃないか
有佐　むしろ部長が邪魔
禎実　文乃先輩じゃいけないんですか？
亘　えっ
禎実　文乃先輩の方がふさわしいですよ
文乃　それはダメよ
奈央　どうしてですか？
文乃　みんなをまとめるのは、男子。女は一歩下がっているもの
聡志　それが、女のつとめでしょ
奈央　何古くさいこと言ってるんですか
文乃　男女平等ですよ
聡志　男女平等なんてありえない
文乃　ババくさ
亘　大和撫子を馬鹿にするな
文乃　文乃、もういい。俺が嫌ならな、お前達でやればいいじゃねえかよ。バカッ

亘、上手の扉を開けて閉める。

亘　ただな、最後にこれだけは言っておく。おれはお前達が大好きだ

亘、上手の扉を開けて閉める。

亘　絶対に止めるなよ。絶対に止めるなよ

亘、上手の扉を開けると佑実が立っている。亘はびっくりして声が出ない。ゆっくり振り返り、部屋の中に戻ろうと歩き出す。佑実は亘と同じ歩調で、亘の後ろについて歩いてくいく。

亘　…君、誰？
佑実　何か用？
有佐　入部？
奈央　そう
佑実　何年生？
一憲　二年生？
文乃　そう
佑実　なーんだ、入部希望者かぁ
亘　幽霊かと思っちゃいました
奈央

聡志　そうか！赤い月の晩の女の子かと思っちゃった

佑実、顔を上げ、正面を向く。

佑実　あたし
全員　えっ！
好希　そいつ幽霊だよ！
聡志　この子に会ってから部室がおかしくなったんだ！
好希　部長！
亘　なんだよ
好希　なんとかして
亘　俺無理だよ
好希　聡志〜
聡志　幽霊、出てけよ
佑実　いや

聡志、壁に貼ってあるお札を一枚はがして、佑実の頭に貼り付ける。佑実が震える。

全員　効いてる！

佑実がお札を剥がして破る。

全員　効かない

佑実はみんなの方向に跳ね進み、驚いたみんなは逃げる。

亘　幽霊さん、何でこのクラブに入りたいの？
有佐　寂しかったとか
禎実　友達が欲しいとか

佑実　そう
亘　じゃあ、…入部しようか
全員　部長
禎実　幽霊は入部できません
好希　それじゃあ幽霊部員ですよ？
亘　あ、うまい
文乃　亘、そんなこと言ってる場合じゃないでしょ
亘　何言ってるんだよ。人間だよ佑実さんは人間だよ。佑実さんは人間！？

亘、佑実に触ろうとするが触れない。

亘　触れない…幽霊だよ

佑実、写真を取り出し、亘に渡す。

亘　何？
佑実　写真
亘　クラス写真？

佑実、うなずく。

亘　あ、禎実が写ってる
禎実　え？　入学した時の集合写真？

佑実、うなずく。

禎実　一憲君も写ってる
佑実　私もそこに写ってる
全員　え？

全員、写真を見る。

佑実　左の上から三番目
好希　ほんとだ、ここにいるよ
聡志　でもあんた二年だよな？　何で一年のクラスに写ってんだ？
佑実　私たち同級生
全員　え？
有佐　ちょっとそれ貸して
禎実　あなたもしかして
佑実　佑実、華井佑実
一憲　あ！
禎実　あ！
佑実　私のこと思い出した？
二人　うん
文乃　何これ！
聡志　どうかしたんですか？
文乃　おかしい
有佐　何がですか？
文乃　写真に色ついてるし、ここに書いてある平成って何よ
聡志　元号ですよ、ほら、だって平成二〇年…二〇年って何
亘　いや、印刷ミスだよ。平成二年が間違って二〇年になってるだけだよ
聡志　いや平成一九年でしょ
文乃　だから平成って何よ。今は昭和でしょ
有佐　そう昭和五十五年
文乃　三十四年でしょ。皇太子と美智子妃殿下がご結婚されたじゃない
奈央　何言ってるんですか先輩、それは十年以上も前の話ですよ。

聡志　今年は大阪万博の年
有佐　大阪万博はとっくの昔、愛知万博だってとっくに終わったんだぞ
聡志　愛知万博なんていつやったのよ？　大阪万博なんて私、小学校一年生の時よ
好希　俺、小学校一年生のときテレビでアトランタオリンピック観てたぞ。オリンピックと万博って重なったっけ
亘　アトランタってどこだよ、今年の東京オリンピックはやるんだろうな
聡志　え、東京オリンピックまたやるの？　俺、出ちゃおっかな
亘　ちょっと待て、今年何年？
有佐　平成二年
好希　昭和五十五年
奈央　昭和三十九年
文乃　昭和四十五年
聡志　昭和三十四年
好希　平成十九年
佑実　なんでみんな言ってることバラバラなんだよ。おい、幽霊、お前が俺達になんかしたんだろ！
聡志　私は人間
佑実　じゃあなんで触れないんだよ
好希　幽霊だから
佑実　ほら自分で認めたじゃないか
聡志　私は人間
全員　矛盾してるじゃないか
亘　幽霊はあなた達
佑実　え…
文乃　俺達が幽霊ってこと？
聡志　そう
佑実　あなたが人間で私達が幽霊？

佑実　そう
好希　ばっかじゃないの。そんなことあるわけないじゃん。おい、じゃあ、俺達はもう死んでるっていうのかよ
禎実　私！死んでるの？
佑実　そう
禎実　いつ？
佑実　去年の春
禎実　なんで？
佑実　事故
禎実　なんの？
佑実　バス
禎実　どうして？
佑実　朝、学校来る途中、一憲君と一緒に事故で死んだの
好希　よしわかった。一憲と禎実は死んでいるとしよう。でも俺は死んでない
聡志　だったら好希、お前、俺たちが見えるか？
好希　見えるよ
聡志　触れるか？
好希　触れるよ
聡志　じゃあ一憲や禎実は？
好希　触れるに決まってるだろ
聡志　お前が生きてるんならどうして触れるんだよ
好希　俺は特別なんだよ
聡志　どこが？　霊なんか見えない、霊感なんてないって言ってたじゃないかよ
好希　それは
聡志　お前が死んでいるから、俺たちと一緒にいることができたんじゃないのか？
好希　じゃあ、お前は自分が死んだっていうことを認めたっていうこと？
聡志　それ以外説明がつかないだろ
田中　田中先生、中央から入る。
全員　おい、お前達まだいたのか。今夜も赤い月が…
田中　先生
禎実　あれ？　何で生きてる人間がここにいる？　お前誰だ？
田中　華井佑実さん、二年生だそうです
亘　何しにきた
田中　入部希望です
有佐　入部？
一憲　先生、彼女が私達のこと死んでるって言うんです
田中　僕と禎実ちゃんがバスの事故で死んだって
文乃　そうか。お前ら二人、バスの事故で死んだのか
田中　彼女の言ってることが、まったくわかりません
佑実　華井佑実さん。君は我々みんなが見えるのかね？
田中　はい
佑実　何しにここに来た？　ここに知り合いでもいたか？
禎実　親友
佑実　え、私、親友だったの？
一憲　そう
佑実　ぼくは？
禎実　知らん
佑実　どんな親友？
禎実　ティッシュくれた
佑実　ティッシュ？
禎実　まだもってる
佑実　返しに来たということだな？
田中　これはとっとく
佑実　そうか、でも君はこの心霊倶楽部には入部できないぞ。こ
田中

亘　こは死んだ人間の集まりだ
田中　先生、俺たち死んでるんですか
聡志　そう
田中　知ってたんですか？
禎実　知ってたよ
田中　じゃあ、どうしてもっと早く教えてくれなかったんですか？
亘　何でも先生に教えてもらえると思ったら大間違いだぞ。お前ら何でここにいると思ってるんだ？
田中　わかりません
聡志　学校が創立されて八〇年。高校生で死んだ人間はいっぱいいたんだけどな、やり残したことへの未練とか、誰かへの恨みとか、そういうのを抱えた生徒が幽霊になって学校に残るんだ
田中　じゃあ、俺達も、なんか未練があって
聡志　いやいやいや、はっきりした未練をもつやつらはとっくにお祓いされて成仏したよお前たちは、ただ遊び足りなかっただけだ。死んだ事にも気づかないくらい遊びたいってどんだけだお前ら。まー気持ちはわかるからな、この部屋で好きなだけ遊んで満足したら成仏しなさいね。先生はお先に成仏します
亘　あの、先生は何のために今まで…
田中　残業だよ残業。生徒を導くのが先生の役目だ。お前たちが気がつくのをずっと待ってたんだよ。おめでとう
文乃　先生どこへ行くんですか？
田中　来世だよ
全員　田中先生、中央からはける。
部長　そうか、俺たち、やっぱり死んでたんだな
亘　亘、あなた気付いてたの？
文乃　…全然
亘　俺と好希と有佐、同じ二年でも話は全然噛み合わなかった何言ってんだよ。いつも映画の話とかで盛り上がったじゃないか
聡志　好きな俳優は？
好希　三船敏郎
聡志　じじいかよ
文乃　好みは人それぞれでしょ
聡志　文乃先輩は？
文乃　中村…金之助。何、私古いの？
有佐　部長、私ずっと二年生やってた気がします。何年も、何年も
奈央　この部屋以外で私たち会ったことありませんよね？
亘　そうか、みんな死んだ歳のままでここにいたんだな
文乃　そうみたいね
亘　じゃあ、みんなが幽霊だとわかったところで今日は成仏しましょう
禎実　そうだな
全員　え？
禎実　成仏、しましょう
好希　なんで成仏しなきゃいけないんだよ
禎実　だって先生が
好希　先生が先生がって、お前には自分の意志がないのか？
禎実　意志はあります。成仏しようと思ってます
有佐　私、今のままがいい
文乃　どうして？
有佐　今のままでも不満じゃないし、生まれ変わったらどうなるかわからないじゃない

聡志　怖いってことか？
有佐　そう
好希　そうだよな、別に今がよけりゃそれでいいじゃん。奈央、お前はどうなんだ？
奈央　私このままがいいです。このクラブ楽しいし、死んでるならこの楽しさがずっと続くってことでしょ？
聡志　俺はお先に成仏するぞ。部長も禎実も一緒に行く、そしたら今のままじゃなくなるっていうことだぞ
奈央　え？
有佐　なに脅しかけてるのよ
好希　行きたいやつが行けばいい。俺はここに残る
禎実　一憲くんはどうする？
一憲　ぼくこのクラブやめます
亘　このクラブやめるってどういうこと？
一憲　だからこのクラブをやめて
亘　やめて？
一憲　他のクラブに行きます
亘　どこの？
一憲　わかりません
聡志　死んだ人間のクラブなんてどこにもないもんな
禎実　一憲君、成仏しようよ
一憲　僕はクラブをやめたいんだ
禎実　だから成仏しなきゃいけないんだよ
一憲　でも
禎実　成仏しよ
一憲　うん
亘　文乃、お前はどうなんだ？
文乃　私、頭がごちゃごちゃでよくわからない
亘　だったらひとまず一緒に成仏するか
文乃　怖い
亘　怖がることはない。いつも俺が一緒にいたろ？
文乃　だけど
亘　黙って俺についてこい
文乃　はい……あんた
好希　あんたら夫婦か
二人　ひひひ
好希　照れるな
禎実　有佐先輩はどうしていかないんですか？
有佐　怖いのよ
禎実　生まれ変わることですか？
有佐　だって何が起こるかわからないでしょ
禎実　生まれ変わったら楽しいこともあるし、つらいこともあります。でも成仏しなかったら何も変わらないじゃないですか。何にでも挑戦してみろって教えてくれたのは有佐先輩、あなたです
有佐　しょうがないな。素敵な先輩に戻ってあげる
好希　有佐、今のままの心霊倶楽部じゃ不満ってことか
有佐　そういう意味じゃない
好希　俺達じゃ不満ってことか
有佐　好希、私、本当は臆病なの。今だって怖い
好希　何だよ。俺は臆病で言ってるんじゃないからな。ただすぐ人に流されるお前達が大嫌いなんだよ
一憲　そんなことないですよ
好希　一憲、お前なんかそのものじゃないか
亘　迷うんだよ、誰でも。迷いはいつもある、でもそれを一つ一つ超えていくのが成長ってもんだろ。俺だっていつも迷い続けてるんだぜ
聡志　好希、一緒に生まれ変わろうよ。俺、お前がいないと、きっと人生がつまんないと思うから
禎実　聡志先輩

聡志　何だよ
禎実　佑実ちゃんを真ん中にして熱く語るのは
聡志　ごめんな
佑実　私、いつも無視される
好希　お前は黙ってろ。生まれ変わったって一緒にいるとはかぎらないぞ
聡志　いや、いる。たとえ年が離れても、場所が違っても、俺はお前と一緒にいる
好希　聡志
聡志　こいよ、相棒
好希　しゃーねーな

聡志が中央の扉に向かって歩き出す。振り返ると後ろに佑実がいる

聡志　うおーい！
亙　奈央、おいで
奈央　いやです。わたしはここにいたいんです
亙　誰もいなくなるぞ
奈央　え
亙　お前一人だぞ
奈央　え
亙　結婚、夢見ていたよな？
奈央　え
亙　生まれかわって新しい男
奈央　え
亙　いっぱいいるぞ
奈央　え
亙　よりどりみどり
奈央　行きます
亙　よし、集合
全員　はい

全員、下手の机の周りに集まる。

亙　迷いはないな？
全員　はい
亙　生まれ変わって悔いのない人生を
全員　はい
聡志　遊ぶぞ
奈央　結婚させて
好希　目指すはプレイボーイ
禎実　たくさんお友達ができますように。ってなんで佑実ちゃんそこにいるの？
佑実　え？
全員　私も行く
佑実　君は無理だよ
亙　でも
佑実　君を連れて行くことはできない
有佐　冷たい
佑実　生きてる人間は成仏できないのよ
好希　じゃあ死ぬ
禎実　友達が欲しいからって自分が死んでどうするんだよ
佑実　佑美ちゃん、幽霊の私は忘れて、あなたはもっとクラスでたくさんの友達を作った方がいいと思う
佑実　でも私友達いない。みんな一緒にいよう
一憲　幽霊みたいに言わないで。怖いじゃない
佑実　うらめしや
一憲　ひっ
亙　心霊倶楽部は今日を限りに解散します。佑実さん、名残惜

全員　しいですが、ここでさよならです。でも、俺たちは新しいたくさんの友達を作っていきます。行くぞ！
亘　はい！
一憲　あの光に向かって
亘　光が見えません
奈央　よく見ろ。心を一つにして
文乃　あのぼやっとしたのですかね？
禎実　だんだん何か強くなってくる
聡志　なんか聞こえる
亘　あれはなんだ？
　天使の歌声だ

　全員揃って、音に合わせてポーズをとる。しかし，成仏できずに変なポーズで固まる。

佑実　おかえり

　半明転

禎実　部長はいつまでそのポーズやってるんですか？
佑実　未練がましい
好希　未練があったらお祓いしてくれるって田中先生も言ってたじゃないか
一憲　部長、その格好疲れないんですか？
奈央　幽霊だから疲れない
亘　もうやめよ、アンタ
文乃　心霊倶楽部解散できませんね
一憲　みんな一緒、死ぬまで一緒
佑実　だから俺たち死んでるって
好希　死んでも一緒
佑実　禎実、禎実
聡志　相当ショックだったみたいね
有佐　禎実ちゃん、禎実ちゃん
佑実

　奈央が手で禎実の頭を叩く。

六場

　亘のみ、変なポーズのまま固まっている。他は部室の中でちらばり、疲れた様子をしている。

佑実　何？
亘　禎実ちゃん、遊ぼ
佑実　だからクラブは解散したんだって
　成仏できなかったら解散できませんよ
　じゃあ、クラブずっと続くっていうこと？
　いやそれはできない
　じゃあ、俺たち浮遊霊？
　自縛霊でしょ？
　そんなの嫌よ
　じゃあ新しい部員を入れて人数増やすってのは
　それも無理だ。俺たちは幽霊を見ることができない
　人間をですよ
　そう、人間を見ることができない。人間も俺たちのことを

佑実　見ることができない。俺たち八人このまんま
一憲　私入れて九人
好希　あんた別
有佐　俺たち変わらずずっとこのまんまってこと？
聡志　それはつまらない
　　同じことばっかりやってる遊びじゃ、たかがしれてるもんな
禎実　それに人間としゃべることもできませんもんね
亘　でもなんで佑実さん見えるんだよ？
佑実　私、霊感強いみたい

電気が消える。肝試しをやっている人(芙実)がお札を持って下手から入ってくる。佑実は机の陰に隠れる。芙実には心霊部員たちが見えない。芙実が一憲の方に向かって歩いていく。一憲が思わず、上手扉を開けてしまい、それに驚いた芙実が慌ててお札を貼って、下手から出て行く。

聡志　何だあれ？
佑実　肝試し
禎実　肝試し？
佑実　ここ肝試しのメッカ
有佐　お札貼ってたわよ
佑実　それがここに来た証
文乃　私たちが貼ったんじゃなかったんだ
好希　じゃあ、俺たち人間見えるようになったってこと？
佑実　そう
好希　聡志、お前見た？
聡志　見た
好希　有佐、お前は？
有佐　見た
亘　やっぱり、俺たち人間見えるようになったんだ
文乃　そうみたい
亘　でもなんで？
奈央　成仏に失敗したからかな？
亘　成仏に失敗したら人間見えるようになった？
聡志　俺たちが幽霊と自覚したからじゃないですか？
佑実　これでみんな生きてる人間と遊べる
一憲　遊べる？
佑実　新入部員、たくさん連れてきて
好希　お前が連れてこいよ
佑実　私には無理
亘　君にしか出来ない
佑実　何で
亘　まだ他の人間は俺たちのことを見ることが出来ない
佑実　そうですね
聡志　よし、お前が連れてこれるならまた一緒に遊んでやる
佑実　でも、私友達いない
好希　そうだよな、無理だよな。人にして欲しいばっかだもんな
佑実　お前は。それで友達ができるって？　はぁ？　幽霊なら友達になってくれるとでも思ってるのか？
聡志　好希、やっぱり無理だよ、こいつ逃げてるだけで自分からは何もしようとしないやつだから
佑実　やる
有佐　なにを？
佑実　部員、連れてくる
好希　どうやって？
佑実　手当たり次第
好希　出来るものならやってみろよ
佑実　待っててね

佑実、上手からはける。

亘　お前大丈夫か、あんな強い言葉言って
好希　うっとうしいんだよ。自分では何もせずに、人にばっか頼るやつ
文乃　だから仲間はずれにされるんじゃない？
禎実　そういう言い方やめてください。佑実ちゃんが可愛そうです
有佐　だったら禎実、あんたがずっと佑実が死ぬまで友達やってあげれば？
禎実　それは無理です

佑実、上手から入る。手には縄を持っている。縄の先は扉の外に続いている。

佑実　はーはー
聡志　早いな
有佐　どうしたの
好希　何だよ、結局一人かよ？
佑実　連れてきた
全員　え！おー
佑実　これ

佑実が縄を引っ張ると、目隠し、口にテープ、体を縛られた亮が入ってくる。

全員　おー
有佐　どこからつれてきたの？
佑実　体育館裏
聡志　どうやって？
佑実　ラブレター
禎実　入部してくれるって？
佑実　するよね
亮　んーん

佑実、亮の口からテープをはがす。

亮　痛っ、何を
佑実　入部
亮　何に
好希　全然だめじゃないか
亘　説明してないの？
佑実　説明し・・・た？
文乃　無理やりつれてきたの？
佑実　ごめん
亮　謝るぐらいならこの縄はずしてよ
佑実　あなたには言ってない
亘　まあ、今から説明して入部してもらおう
禎実　そうですね
亘　名前は？
佑実　名前は？
亮　赤尾亮です
亘　霊感はあるのか
佑実　霊感ある？
亮　まあ、あると思いますよ
亘　よし、亮くんにはぜひこのクラブに入部していただきたい
奈央　すごく楽しいよ
文乃　仲良くしましょう
全員　よろしく
亮　痛いんだけど、これはずしてくんない？

佑実　だめ
聡志　がん無視かよ
有佐　性格悪
好希　どうしてこんなやつつれてきたんだよ
佑実　ごめん
亮　だから謝るくらいならこれはずしてよ
佑実　あなたには言ってない

佑実、亮の縄を引っ張る。

亮　じゃあ、きみは誰と話してるの？
佑実　みんな
亮　みんな？　ここには君のほかにも誰かいるの？
佑実　そう
有佐　今のどういうこと？
禎実　ひょっとして、私たちの声聞こえてないんじゃないですか？
一憲　霊感弱いんじゃないんですか？
全員　あ～
聡志　じゃあ、どうするんだよ
亘　姿は？　姿は見えるのか？
禎実　佑実ちゃんその目のやつ外してみて
佑実　外すよ。見える？
亮　うん、見えるよ
佑実　じゃあ、この人たちは？
亮　誰もいないよ。なんだよやっぱり君一人じゃないか
全員　見えてない
好希　霊感ないんじゃどうしようもないじゃないか

好希が椅子を動かし座る。

亮　見た？　今、椅子が勝手に動いたよ

好希、椅子を動かす。

亮　ほら

一同、笑みを浮かべる。

亘　セッツ！

みんなで椅子を手に取り、動かしたり、机をゆすったりする。

亮　あれもこれもそれもこれも全部浮いてるよ
亘　ゴー！
亮　地震だ、椅子がー！　椅子がー！　地震だー！
佑実　やめい！

佑実の掛け声で、全員止まる。

亮　止まった
佑実　置け

佑実の掛け声で、静かに椅子を下ろす。

亮　何？　君、魔法使いだったの？
佑実　違う、ここには幽霊がいるの
亮　幽霊？
佑実　そう

亮　へぇー、じゃあ、みんなっていうのは
佑実　幽霊
亮　へえー、じゃあ、僕はこの辺で失礼させて頂きます

亮、上手から逃げようとするが、佑実が縄を握り逃げられない。

全員　あーーーーー
佑実　何で逃げるの？
亮　だって幽霊がいるんだろ？

亮を止めようとした聡志が、椅子にぶつかってしまう。

亮　ほら、動いた。やっぱりこんなとこにいられない
亘　しまった、調子に乗りすぎた
文乃　怖がらせてどうすんのよ
亘　俺たちは怖がらせたいんじゃない、もっと愛をもって接しなきゃな
全員　はい
亘　戻ってこーい
禎実　仲良くしよー
有佐　美人もいるよー
好希　愛してるよー
奈央　うらめしやー
亮　今、何か聞こえなかった？
禎実　何か聞こえたみたいですよ？
有佐　今、何て言ったの
奈央　うらめしやって
亮　ほら、うらめしやって
禎実　うらめしやなら聞こえるんですね
亮　だから聞こえてるって
有佐　幽霊っぽい言葉なら聞こえるってことね
文乃　幽霊と自覚して、生きてる人間と接しないとだめなのよ
好希　愛より恨みか
聡志　こうじゃなくてこうってことだな
禎実　身も
奈央　心も
全員　幽霊らしく。よし！
亘　みんな準備はいいか？
全員　はい
亘　いくぞ
全員　うらめしやー

全員、下手の机の周りに集まり、亮を驚かすポーズをとる。

亮　いやー
亘　われわれは幽霊である
好希　この部屋に巣くう恐ろしき自縛霊なるぞ
亘　お前はすでにとりつかれている
亮　自縛霊なのに人にとりつくんですかね？
全員　何？
有佐　自縛霊なのに人にとりつくんですかね？
文乃　やかましい
聡志　冷静な突っ込みはいらん
全員　余計なことは言うな
亮　黙っていうことをきけ。さもないと
呪うぞ
ごめんなさい。ごめんなさい。ごめんなさい

亮は震えながら舞台中央にしゃがみこむ。その周りに、背

後から幽霊たちが集まってくる。

亘　もし開放してほしければ、この女と共に心霊倶楽部をつくるのだ

亮　心霊倶楽部？

亘　幽霊と対話し幽霊の望みをかなえるクラブだ

禎実　見事、我々を満足させたのなら、そのときはお前を開放してやろう

有佐　そのためには一人や二人じゃ足りない

文乃　たくさんの人を集めて来い

亮　は、はい

好希　逃げられると思うな

一憲　お姫様もいるぞ

亮　えー？

奈央　我々は常にお前を見ている

聡志　もし、お前が我々を裏切るようなことがあれば

全員　たたるぞ

亮　はい

佑実　行くよ

亮　はい

佑実、亮、上手からはける。

禎実　で、これから私たちどうします？

亘　俺たちよりも佑実さんが心配だ。彼女はすぐ人に頼る。自分で何かしなきゃだめだということをわかっていない

文乃　でも私達と友達になろうとしたじゃない

有佐　霊感が強いからよ

聡志　違うよ。禎実や俺たちに会いたかった。だからみんなを見ることができたんだ。そして、彼女は今一人の新入部員をつれてきた

好希　ラブレターて言う強引な手をつかってな

亘　手段は関係ない

一憲　でもやっぱり女性は恐ろしいです

禎実　それ私のこと？

聡志　自分の手で新入部員を獲得したんだ。俺たちはちょっと手伝っただけさ

亘　成仏するかよりも今は佑実さんのほうがもっと大事なんじゃないか。なあ、禎実

禎実　そうですね。その通りだと思います

好希　じゃあ、なんだ。俺たちは佑実に友達を作らせる為に死んだのか

聡志　そんなわけねぇだろ

好希　何で俺たちがそこまでしなきゃいけないんだよ

亘　何でだと思う

聡志　俺、わかりません

一憲　考えろよ

亘　考えてもわかりません

考えてないだけだろう

教えてください

考えろ

教えてください

考えろ

教えてください。でなきゃ俺わからないっすよ

何でも人に教えられると思うな！　…と先生も言っていた

時間はたっぷりある。それまで一緒に考えようぜ

僕たちは結局成仏できるんですか

もっとあとでもいいだろ。死んだことにも気がつかなかったんだ。あせることはない

奈央　佑実さんがいい男いっぱいつれてきますように
有佐　なんで
奈央　結婚できるかもしれないじゃないですか
全員　なーお
奈央　なんですか？
全員　考えろ
奈央　えへ

半明転

七場

部室にたくさんの人間が集まっている。幽霊たちは物陰から様子を見ている。

慶太　ここって心霊倶楽部？
将太郎　そうだよ
一樹　君もこの心霊倶楽部入るの？
佳奈　うん。怖いけど入る
真康　今までこんなクラブあったっけ？
会望　なかったと思う
将太郎　だってここ今まで使われていなかったんでしょ？
会望　せいぜい肝試しで使われてたくらいでしょ
真康　合宿でネバーランド行くんだって
全員　えっ
慶太　幽霊が恋の手助けしてくれるんだって
全員　えっ
将太郎　美人の幽霊が裸で丸見えなんだって
全員　えっ
一樹　世界が平和になるんだって
全員　えっ
真康　お前ら、本当に世界平和が目的なの
全員　まっさかー

幽霊たちが一斉に物陰から登場する。

幽霊　何だコレ！
亘　何でこんなにいっぱいいるの？
好希　知らない。これみんな入部希望？
禎実　そうみたいです
奈央　佑実さんが連れてきたんじゃない？
聡志　でもさっきから聞いてるとこの心霊倶楽部とんでもないものになってるぞ？
文乃　みんな何か勘違いしてるみたい
有佐　私たち世界平和のために裸になるの？
一憲　僕、怖い
好希　こういうのは入れちゃダメだろ
亘　俺たちが集めたわけじゃない
好希　俺は認めない
聡志　人がいっぱいいなきゃクラブとして成立しないだろ
賢吾　えっ、うっそー。お前ホントに見えんの？
麗　そう私には見える
優樹　何が？
麗　幽霊
璃紗　霊感少女なんだ
麗　人は私をそう呼ぶ
佳奈　ここに幽霊がいるの？

麗　とってもかわいい女の子
賢吾　どんな子？
麗　目はパッチリと愛らしく、唇濡れてつややかに、胸は大きく膨らんで、肌は透き通って雪の精
あすか　どこにいるの？
麗　ここ
一憲　僕？！
一樹　いないじゃないか

佑実、下手から入る。

亮　あー、佑実様
佑実　ここだよ
文菜　へー、ここが心霊倶楽部なんだ
光佑　なんか雰囲気ありそう
亮　あれ、お前一年の豪祐じゃん
豪祐　はい
亮　お前も佑実様に誘われたのか？
豪祐　ええ、僕、佑実先輩に憧れてるんです
真康　どこに
豪祐　粘り強さ
佑実　そんなに褒めないで、ブイ。

田中先生、中央から入る。

田中　なんだお前たちは、何でここにいるんだ
将太郎　先生
全員　先生
亘　おい、何で先生がここにいるんだ？
文乃　成仏したんじゃないの？
禎実　田中先生ですよね？
佑実　田中先生ですよね？
田中　そうだ
有佐　田中克樹先生ですよね？
佑実　田中克樹先生ですよね？
田中　それは死んだ俺の親父だ。俺は田中やすひろだ
聡志　息子だよ、田中先生の
好希　気味悪いくらい似てんな
田中　ここに集まってお前ら何をしようとしてるんだ
一樹　心霊倶楽部に入ろうと思って
田中　心霊倶楽部？　そんなものないぞ
真康　いや、同行会からはじめるつもりです
田中　学校も認めてないだろ
会望　じゃあ、先生が認めてください
田中　俺が認めてどうする
亮　先生、認めてくれないと怖い目にあいますよ？
田中　は？
亮　こんなふうに縄で縛られたらどうするんですか？
田中　お前なんでそんな格好してるの？
亮　呪いです、他の縛り方もあるらしいです
一公　どんな？
璃紗　金縛り
賢吾　先生、認めてください
田中　心霊倶楽部っていうのがあっても面白いじゃないですか
亮　きっとどこの学校にもないと思いますよ
田中　しかしなぁ
亮　顧問は田中先生、お願いします
田中　俺？
亮　顧問は田中先生でいいと思う人
全員　はい

佑実　はい
田中　よしわかった。顧問はおれがやってやる。しかしこの部屋は暗いなぁ。ちょっとカビ臭いし。みんな、窓を開けろ
会望　暗い方が雰囲気があっていいじゃないですか
璃紗　光が入ると幽霊溶けちゃいます
田中　顧問は俺だ！
亮　でも
田中　俺は暗いところが嫌いなんだ。幽霊が出たらどうする。開けろ！
慶太　でも
田中　開けろ！
全員　はい

部室の窓を開ける。

好希　俺たち溶けるのか？
亘　ドラキュラか
一憲　でも、にんにく嫌いです
聡志　うるさい
文乃　ねぇあたし溶けてない？
亘　本当だ。君はどろどろ、でも僕はどきどきだよ
文乃　…復活
八人　溶けそう～
一樹　先生、明るくなりました
田中　よし、でこのクラブの名前はなんだ
真康　心霊倶楽部です
田中　で、部長は？
好希　華井佑実
佑実　え？
好希　部長はお前しかいないだろ
聡志　部長は華井佑実
亮　部長は華井佑実さんがいいと思います
田中　華井佑実？　どいつだ？

佑実、手を挙げる。

田中　何か幽霊っぽくて雰囲気あるな
禎実　華井佑実しかいないと思います
将太郎　華井佑実しかいないと思います
禎実　とっても可愛いし
将太郎　とっても可愛いし…えっ？
田中　そうか、皆がそうやっていうんだったら部長、華井佑実でいいか？
全員　はい
田中　華井、できるか？
佑実　私、自信ない
一憲　佑実さんならできる
文乃　こんなにいっぱい集めたじゃない
奈央　これみんなあなたの友達よ
有佐　なにくよくよしてるの
聡志　もうお前は一人じゃない
亘　これからは君が皆を引っ張っていくんだ、心霊倶楽部部長おめでとう
禎実　佑実ちゃん…頑張れ
佑実　うん
田中　おい華井どうなんだ？できるのか部長？

佑実、手を挙げる。

佑実　私、部長やります

田中　よしこれで部長は決定だ。で、このクラブは何をするんだ？
佑実　幽霊発見
田中　幽霊発見？
佑実　人間も幽霊もみんなお友達
田中　そうか。じゃあ、幽霊見つけれるようにがんばれよ
一樹　部長、僕たちは今から何をすれば？
佑実　呼びかける
璃紗　呼びかける？
佑実　こっちが見ようとしないと、幽霊は見えない。呼びましょう。さん、はい
全員　幽霊さーん

幽霊全員揃ってポーズを決める。

八人　うらめしやー
全員　出たー！

幽霊も人間もいっしょに騒ぎ出す

―幕―